京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久伸一郎

京城西署西小門通（電話六六二）

發行所　京城新報社

雜報

脚氣豫防法（室谷軍醫正の談）

時日脚氣患者に多きを以て一般公衆に之が豫防上最も注意を要すべき必要を感じ居る折柄憲兵司令部軍醫部長室谷軍醫正は同豫防に關し左の通り談話せられたり

此頃軍人の家族を時々診療する機會に遭遇しながら其の病氣の多くは脚氣である定めし地方人士にも少なからざらんと察せらるゝ抑も脚氣は冬季比較的少なく主に夏季及び其前後に多發せる其の徴候としては先づ最初下腿の浮腫であるが人に依りて却て筋肉の瘦せることがある之と同時に知覺異常を來す之は下腿及指尖より始まり下腹口圍に波及す次に食慾減じ便秘し運動すれば心悸亢進して胸內に苦悶を起し呼吸促迫を呈するに至る其上衝心とて呼吸困難嘔氣喀吐顏面蒼白唇紫藍色を呈し頓に死の轉歸をとる惡徴を來すことあり恐るべきは該病なるが今日の處原因は未詳にして豫防法宜しきを得れば未然に防ぐ事が出來るそは米食者に多發し麥食者には全く發せざるか將た少數なる實驗上より豫防としては以前脚氣に罹りたることある人は勿論其他の人にても毎年五六月頃より麥飯を用ふれば之に犯されざること慥である其米麥の割合は先づ七分三分なるが夫れ以上麥を增加せば一層効能あり麥は丸、挽割及壓搾何れが宜きやは未だ定論なきも麥の外小豆粟等の混食も効あり副食物としては麩、湯葉の如きを粗食せば宜と云ふ人あれど決して左に非ず可成滋養分に富むものを食用する必要あり併し鮪鰯鰹等の青魚は禁物なり上述の如く脚氣は豫防可能の病氣故時節柄米麥混食を勵行し各自の自衛を旨とし万一罹病せば一日も早く診斷を受け重態に陷らざる樣注意ありたし

●麗水近海七月漁業

▲積金島の赤魚釣　赤魚釣の根據地は其の餌料たる鰕の主産地汝自灣に位置を構へ今より十二三年前廣島縣須波村漁船の釣漁を開始したる處にして昨年より淡路漁船出漁を始め本年は納屋十棟あり內二棟は飲食店、酌婦入、雜貨兼漁夫納屋六、船大工兼遊戯店一棟あり該島に在る漁業者は廣島縣須波三組兵庫縣三組、愛媛縣二組ありて各一艘の母船及び仕込船を有す此母船の仕込を受くる漁船は岡山縣三五艘、廣島縣須波一五艘、淡路船若干ありて悉く積金島を中心とし突山島羅老島得粮灣の近海十里乃至二十里の間を從業區域とす

▲赤魚釣の漁期と漁獲高　漁期は陰五月節句鰕網の終りより七月迄にして本年は一艘一日五貫乃至十貫、毎年漁期中は四潮にて百貫乃至百二十貫とす）と漁獲し目下地元價格一貫五十六錢大阪着一貫一圓五十錢乃至一圓七八十錢にして各母船は一艘五百貫乃至一千貫を生して航送し往復日數二十日內外を要すと云ふ本年は始漁以來全部の航送額四千貫餘にして大阪送り減量は死魚又は魚瘠せの爲め七分止りとす、

▲鰆漁狀況と餌　廣島縣の赤魚釣母船は從來五月より六月迄羅老島鰆綱、六月より七月迄赤魚釣九月より十二月まで欲知島の鰆釣の漁獲物輸送を爲し（各漁船に從ふ）其の航送度數は鰆一航海乃至二航海赤魚一航海鰆二航海にして各航海一艘平均三百五十圓內外の手取りを爲し一ケ年間を通じ四乃至五航海を爲すと云ふ、餌料は鰕を使用し各漁船自ら餌取りを爲すも時に汝自灣汝自島の日韓人鰕網より買入れることあり其價は一尾葉錢一錢なりと

地方電報

▲平壤通信

▲平壤監獄近況　平壤監獄署に於ける最近の狀況を聞くに現在囚徒は本監に於て二百〇五人內未決四七人內女三名既決四百九十八名內韓人男百四十三人女二十一人その他は邦人同出張所は凡て韓人にて四百十五名內被告人六十二名本監及出張所合計六百名なるが獄制內容に就ては一般既決囚徒は本月は就役時間は十時三十分間食事は三回日人は米麥相加交したるもの韓人は粟小豆を加交したるものを用ゆる事となり居れるが副食物に就ては一週間に二度動物性種類ものを用ひ且行狀その他品行の方正なる授賞者には特に營養に富みたる佳味品を與ふる事とし入浴は五日に一回の規定就役に就ては工作農作掃除等あり工作に就ては設備充分ならず工場狹隘なるを以つて之に用ゆべき囚徒の全部を容るゝに足らざる狀態にあるが農作は本監獄舍に接續したる地周圍約一町歩の區域及平壤驛附近の地點同一町歩の區域に於て南瓜、茄子大豆、唐辛、キャベツ等を栽培しつゝあるが目下何れも盛に發育し當監獄囚徒の副食物に用ひて餘ある位なり農作に就ては近く農業に充分の經驗を有する授業者を聘し同就役囚徒に農作方法を教授せしむる事としたれば今後一般作物の効果は益良好なるを得可き理也又囚徒の教誨に就ては毎日曜日午前より囚人一同を一定の場所に集め先典獄は其の一場の訓示を爲し更らに本願寺より出張の擔任誨師は懇ろなる教誨を爲す事となり居れり本監は比較的完全なる設備を有すれば獄務執行同建築物萬端の不完全は何ぽ囚人取扱の上に於いても万事遺憾なる點少なきも出張所は以前の不完全極まりなき韓國式獄舍に多少修繕を加へたるものに過ぎざれば其の後我司獄官の主として來任後は大に改善を加へたるも奈何せん經費の許さざるものあり舍內の狹隘免れずされど本監及出張所を通じ全體に於て衛生設備は目下大に完備し隨て從來は顏面蒼白色を呈し宛然一死人に等かりし韓國囚徒等も何れも健康を回復したりと

一度召し上ると其の味を忘れられぬは　ミュンヘンビール

▲製粉の好原料　勸業模範場平壤出張所に於て目下試作中の小麥は多種ある中に最も西韓の地味に適せるはマルテンス及びカルボニアの二種なるが兩者共に一反歩一石以上の收穫あり朝鮮在來の小麥ヌルミリの收穫量に比し一二割方多く其品質の頗る良好にして製粉の原料たるべく當局者は之を以て將來內地に於ける亞米利加輸入の製粉を壓倒し得べしと意氣込み居れり元來マルテンス種は日本內地に栽培するも成功せざるは梅雨の時期早くして麥の成熟に支障を與ふるに基因す而して饂飩粉醬油味噌等には他種の麥より原料を得べしと雖も製粉には此種麥にカルボニア種以外に好原料なきを以て西韓に於ては今後大に其の栽培を奬勵する方針の由なるが播種期は十月一日より十日迄なれば同期以前に希望の者には同所に於て請求あり次第配付すべしと聞く

講談

大岡政談　越後傳吉　第四十七回

旭堂南陵講

虎「そりやア小旦那ならい事をいはしやつた、お前様知らねへけれども、お前様の不在の間にお梅の居ッちよと庄屋が密通いて居たい、村で知らねへ者は一人もねへ、庄左衛門爺もおはやとくッ附き親子でハア密通をやつたでがす、飛んでもねへことをしやアがるな、それでスッカリ分りやした庄屋の野郎が庄左衛門と腹合せてやつたんだ小旦那、確固しなきやアなんねへぞ、」斯うなつて來たら皆酒を飲んで居るから勢ひが附いて居ります、傳吉一同の顏色を見ると　傳「成程中村屋のいふた通りだわい占めたと、思ひました　傳「ところで中村屋さんの仰しやるのには兎に角私が庄屋と會つたら宜いんだから大振舞の席へ乃公が乘込んで行つて庄屋の面を見りやア分る、見てその人だつたら傳吉の從兄弟の彌藤次となつて金を騙つた奴は此奴だと、中村屋さんが當人を見ていふのでございます、虎「面白いぞ、これは面白いことになつて來たハヽア成程……　傳「さうすりやアもうお前の村方の者が默つて聽いちやア居ないだらう、實田村の者でも骨のある者があるに違ひがねへ泥棒するやうな名主や探偵に使はれてるやうな腰拔な者へ來はなからうと斯う云ひました　虎「小旦那、妙なことをいひますだ、お前様のいふまでもねへ、そんな腰拔は一人もねへでがす、宜うございます、その中村屋さんに會はして貰ひますだ、」會ふた上で腰拔か腰拔でないか見て貰ひますだ　傳「只今呼んで來ます、」傳吉が多勢の人を集めて置いて中村屋を呼んで來るとサア一同に煽動られて威張り散らして居る、與兵衛が　與「乃公が今奧へ行つて彼奴の面の皮を引剝いてやりますからお前さん方も一番腕を貸して呉れ、是だけの同勢が居るんだから半分は庄左衛門庄屋お梅おはやを引ッ叩いて踏縛り、殘りの半分は庄左衛門の家を打ッ壞して先方の宅中の物を調べてくれ傳吉さんの取れた金が入つてる何よりの證據は胴卷でそれは紺縮緬のやつだ吉原の三浦屋さんが持て居た胴卷を貰つたんだから三筋白拔になつて居るのがあるに違へねへ二百兩の金はこりやア乃公が家から受取つた時に手拭で卷かうとしたから姪のおせんが平生持つて居る財布此所に在るこの前掛の布と同し布の財布へ入れてやつたら頂いて懷中へ入れて行つたこれも其儘あるだらう、そいつを調べてくれと、中村屋がおせんの前掛の端布を出しました　虎「分つた、コレ我と〳〵は構ふことはねへから、今奧で庄左衛門庄屋のことが分つたら打ン毆つて引ッ叩くだ　甲「心得た　乙「心得た　丙「分りやした　虎「乃公が方はなこの虎ン兵衛が大將になつて構はねへわの野郎の家を叩き潰してしまへ、何も糞もあるものか　皆「決行けろ〳〵　實田村の者に腰拔は一人もねへだ、サア一同威張り出して　與「酒の勢ひがないと充分の働きが出來ません、サア〳〵飲んで下さい　皆「コレ一番充分と飲まうか、」只さへ酒の上の惡い奴が、ガブ〳〵劍菱を飲だから、イヤ大變な勢ひになつた、スッカリと與兵衛が煽動つて置いて元へ戻つて來る、此方は傳吉膝合した通り奧へ來ると一同ワイ〳〵いひながら飲んで居る　傳「ハイ皆さま何もございませんが宜しく召上りまして　皆「イヤどうも小旦那、御馳走さまでございます　傳「さて皆さん、今日お呼立て申しましたのは決して芽出てへ酒宴ではございませんので、金が三百兩紛失した一件をお話しいたします、庄「オイ〳〵傳吉どん　傳「ハア庄屋さん何でがす　庄「今日は芽出てへといつて回狀を廻して皆集めたこの酒宴だ、三百兩の金を奪られなすつたことは乃公もおはやさんから聞いてるから調べて上げるんだ、この芽出てへ會席で奪られたことを云ひ出すのは愚痴ぢやアございませんか　傳「さうでねへ、何でもこの村衆の者の中で私の金を三百兩奪つた泥棒があるといひますから私イ話しますだ

●諸公債諸株券　現物賣買、迅速確實に御取扱可申候

兼業　既製洋服卸小賣　諸官衙御用達

京城本町三丁目　大坂野村德七代理店　田中友吉商店　電話九九三番

廣告

確實なる身元保證人ある二十歲未滿　書生を募集す

京城旭町二丁目一四五理事廳脇より旭町三丁目へ通る中程　堤重四郎事務所

キッコーウリ　最上醬油　龍　韓國仁川　日本醬油株式會社

米國新式　機械製造　土管煉瓦壺

陶磁器卸小賣　官製煙草元賣捌所　土管煉瓦販賣元

京城本町二丁目　電話百拾參番　振替口座韓國三二　肥　陶榮商店

診療時間　午前自七時至十二時　午後自一時至六時

東京醫科大學齒科專攻　飯塚徹

京城南山町三丁目（巴城館上傍）　電話一一四〇番

注意

IVORY SOAP　アイボリー石鹸

Procter & Gamble, Cincinnati

米國プロクター、エンド、ギャンブル會社製品

包裝ノ「アイボリー石鹸」ノ日本文字アル者ハ舶來品也

欺カルヽ勿レ

大割引　寫眞器　交換

東京神田旅籠町（大通）　東京寫眞館（電話下谷六五八）

四割引　壽命の切迫　好機將に去らんとす　來る八月十五日限り

京城明治町一丁目　東京吳服店臨時出張　丸星德商店方　電話千四百〇九番　四十三番

暑中御見舞品各種品揃
洋煙草類金銀屬美品術直輸入品
三丁目 辻屋 支店電話二六八 韓國拓殖口…

東京電報

▲大水害の後報 十二日

夜着電大水害後報左の如し

▲家屋千戸破潰す 沼津港激浪の爲め海岸の堤防約十九間缺潰し家屋四百戸全潰し六百戸半潰れ男女二名溺死大井川增水の爲め島田町家屋二十三戸流失原、沼津間出水の爲め汽車不通となり靜岡原に通ずる外以西は不通となれり

▲箱根一体の惨事 小田原早川口なる實石樓俄然十一日午前五時流失六時半箱根福住樓全部流失浴客六十名の中十五名は行衛不明川尻、芳津に行衛不明者を數ゆるに付消防夫三百五十名は死體搜索並に堤防缺潰個所の防備工事を爲し居れり大倉組避暑場一部流失し湯本、朝日兩橋梁流失し小田原は今尚ほ增水浸水しつゝあり大混亂中

▲立往生千五百名 東海道線袋井、島田各地停車場に立往生せる旅客は其の數千五百名に達せり又た各停車場構内は浸水を見ざるも線路上浸水甚しき處は五尺に達し居れり修繕人夫は名古屋及豐橋より五百名を送りたる外附近の農夫等も能ふ限り驅り集め必死となりて復舊工事に着手しつゝあり

▲惨狀言語に絶す 靜岡縣下の大洪水は東に進む程惨憺を極め磐田郡見付町の中川堤防缺潰の爲め千五百の住家一時に浸水し床上四五尺に達し中には軒に達せしものあり磐田郡田原村最も甚しく十日午前中の大雨にて太田川堤防三里欠潰し附近一帶は東西三里南北一里半の村落忽ち泥海と化し六百餘戸の人家中五百餘戸は濁水中に沒し家屋の流失其の數を知らず大田川鐵橋流失せんとし危險なるより工夫百五十名は萬口等を以て流れ來れる家屋や材木等を微塵に打碎きつゝあり罹災民の惨狀言語に絶す

▲東西運輸の杜絶 水害の爲め目下尚ほ不通線路は東海道線の外中央線、山の手線、川越線、日鐵海岸線、東北本線の一部にて東西の運輸聯絡は全く杜絶せり

▲埼玉縣下の被害 埼玉縣水害狀況只今迄の調査に依れば浸水家屋七千三百二戸、人畜死傷二十四、行衛不明二十五、流失家屋二十六戸其の他田畑の浸水二千八百五十町歩森林の浸水三千三十一町歩且つ交通杜絶道路の破壞三十一箇所

▲大木倒れて壓死 麹町區永田町二丁目村井吉兵衛所有地崩壞二十坪程い土砂數十本の大木と共に墜落し隣家梅原宇皎方を粉碎し主人宇皎を始め家族六名土砂に埋められたるに付巡査、並に近隣の人々驅け付け近衛第三聯隊より派遣したる歩兵一個小隊力を合せて堀り出したるが宇皎小供壓死せられ居り他は辛ふじて救ひ出したるも重傷を負へり

▲中仙道汽車不通 吉永、飯塚間線路破壞の爲め汽車不通となれり奧州線栗橋以東不通

▲兵器廠構内崩壞 十二日午後一時五十分橫須賀兵器廠構内裏の石垣二百坪崩壞し家屋を押潰し一名壓死したり

▲宮城の石垣崩潰 宮城振天府前面の石垣十間宛二個所崩壞し又麻布天文臺滿録出張所間の石垣約十五尺巾五間崩壞し加藤某方を壓壞して主人を始め家族三名重傷を負ひたり(以上十二日夜着)

▲鐵道不通個處

昨夕迄の現在鐵道不通の個所左如(同上)

(一)東海道線 東京神奈川間、戸塚藤澤間、國府津山北間、沼津鈴川間、蒲原興津間、燒津藤枝間、藤枝堀内間、掛川濱松間、鷲坂二川間、
(二)中央東線 與瀬上野原間、上野原鳥澤間、大月初鹿野間
(三)信越線 新町神保原間、飯塚安仲間、
(四)舊日鐵線 栗橋古河間、
(五)私設線 熱海鐵道全部、伊豆鐵道大場大仁間、橫濱鐵道中山須田間、小田原電鐵國府津小田原間

▲改造紙幣發行

大藏省告示を以て日本銀行より發行する兌換銀行券の内五圓券を改造し十月一日より發行せらる(十三日)

▲外國貿易旬報

本月第一旬間の外國貿易額は輸出一千二百〇六万六千圓輸入一千四百七十一萬一千圓差引輸入超過二百六十四萬五千圓なり累計輸入超過額は三千百〇五萬七千圓に上れり(同上)

東京電報

▲東京水害後報(一)

荒川の上流堤防增水の爲め破壞し加ふるに昨夜來降雨あり市民恟々たり(二)本所、深川、下谷、淺草より向島一帶千住、王子、赤羽、岩淵、三川島の各地何れも浸水し特に千住は二階迄浸水何れも屋上に避難し饑餓に迫る(三)千住大橋は殆ど陷落せしが吾妻橋、兩國橋、永代橋も危險に迫る本所の住民の全部避難せり(四)龜井總監は自ら出動し避難救助を指揮す(五)淺草公園も四尺浸水し船にて交通せり(六)荒川、綾瀬沿岸全部浸水死者十數名あり(七)昨日來工兵隊出動救助中(以上十三日着電)

▲鐵道一部開通

東海道線は靜岡迄開通せり(同上)

雜報

仁川貨物集散(上)

仁川港を中心とする貿易區域の輸出入貨物は主として同港より呑吐せらるべきを原則とするも交通機關の發展に伴ひ商取引の便否其他運賃の關係等より近年仁川港貿易範圍の貨物にして他港を經由し出入するもの甚だ尠しとせず此趨向は鐵道の日本と聯絡輸送開始以來助長せられたるものゝ如し今仁川稅關の調査に基き主として鐵道輸送の方面より其狀況を觀察すれば

▲第一輸出品 仁川港の貿易範圍は鐵道沿線地方に在ては北は京義線黃州より南方は京釜線大田に至る間とし此區間に於ける各驛より汽車便に依る昨年の輸出重要品を看るに總額の五割一分は仁川港仕向にして四割九分は他港仕向のものとす今一二の貨物に就き其原因を研究するに左の如し

(一)米は出荷高四千五百八十三噸中新義州仕向千八百三十九噸運帶輸送にて日本仕向千三百九十九噸にして仁川港仕向は千八十六噸に過ぎず蓋し新義州仕向の第一位を占めたるは黃州平野の產米が砂里院より安奉線工事の需要を充たさんが爲め發送せられたるものに係り鳥致院平澤太田の米は連帶鐵道便を以て釜山を經由するもの多し是れ全く運賃特別割引の結果にして同港場に廻送して輸出の機を待つよりも鐵道便に托して直ちに日本内地の需要に投ずる方利あるを開港場に廻送し種々の中間稍取業者を經て貿易業者の手に歸し貿易業者は阪神に送りて委託販賣に附するが如き遲緩なる舊來の取引方法に依らずして敏活なる鐵道輸送に依るの得策なるに出る(未完)

七月中の京城商況

當地の商況を見るに引續き不活潑にして著しき變動なく加之上旬以來殆ど半ヶ月に係る降雨の爲め韓人の入京者尠なく前月に比し各品共賣行捗々しからず殊に近時官吏側に於ける購買方の減少は左なきだに不振なる市況をして一層不況に陷らしめつゝあり亦集金の如きも中以上の社界に於ける大口のもの却て支拂澁滯の有樣にして各店とも困難の模樣なり然れども一面久しく沈靜なりし大小豆小麥の如き本月に入り相應の出廻りあり且つ追々母國に於ける味噌醤油の醸造期に近きたるを以て望手多く市場活氣を呈し近來珍らしき取引を見るに至れり亦た酒類食料品等を始め呉服類及建築材料等可なりの賣行あるも昨年の同期に比すれば約三割以上の賣行き減少なり砂糖麥酒洋酒等にありては目下普通需用の外盂蘭盆會贈答用の爲め頃に賣行を增加し好況を呈せり(商業會議所調査)

●咸鏡南道方面饑饉

咸鏡南道高原郡水洞面山谷面地方は土壤磽确にして殆ど水田を有せず豐年にても尙は人民の食足らざる狀態にて頻年窮乏の有樣なりしが二三年來匪徒各所に出沒し掠奪の厄に遭ひ一層の窮境に陷り人民漸く離散せんとするに至り昨年の霖雨にて被害甚しく今年は僅かなる蕎種も殆ど全部耗竭せんとせり兩面の住民は約千九百戸人口約一萬一千にて其中饑饉の爲め流亡せるもの百六十戸七百八人に達し草根を混食して僅かに命脈を繋ぐもの二百七十九戸千二百四十二人草根を主食するもの二百七十五戸千二百十四人に及べり然れども同地方民の草根を混食する如きは珍らしき事にあらざるも本年は殊に慘狀を呈し例年より確に二割內外の窮狀を高めたるものにして當局者は一時的救濟の策の無効なるを認め永久的救濟の方針にて養蠶或は牧畜の如き地方に適せる產業を獎勵せんと目下詮議中なり

●群山港の發展狀態

群山港は木浦港と相拮抗する一貿易港なるが去る明治三十二年の開港當時に於ける貿易は僅かに雜貨、酒類の販賣と少數の米穀を取扱ふに過ぎざりし然るに爾來急速の進歩を爲し殊に三十六年以來農事經營の進歩と共に漸次其額を增し昨四十二年度に於ては輸出入貿易價格實に三百萬圓を超ゆるの盛況を呈し今や先進港たる木浦、鎭南浦を凌ぎ仁川釜山を壓せんとするの勢に達せり而して同港の貿易は輸出を主とし其の輸出方面は外國貿易として日、英、米の四ヶ國にして沿岸貿易としては仁川を主とし元山、釜山等なり輸出品は米穀の外大豆、荏子、牛皮、苧布紙等あるも何れも小額にして特記するに足らず輸入品は金巾類、紡績糸、石油、燐寸等其重なるものにして殊に金巾、紡績糸の如きは年々韓人の需用增加し前途甚だ好望なり

●日韓田畑收益多寡

日本に於ける田畑と韓國に於ける田畑の收益及び公課其他の諸雜費とを比較して其の純收益を見るは頗る興味ある問題にして此結果を見れば韓國農夫が植付けを爲したる儘にて自然に放擲せるか狀況は如何に韓國の農事改良が急務なるかを知るべし今之れを表示すれば左の如し

	收入	支出(公課其他)	純收益
日本 自作田	一六、五三	三、五〇	七、〇三
韓國 同	三、一一	八、〇五	五、〇八
日本 自作畑	一七、八三	一四、五九	三、二四
韓國 同	五、九六	四、〇六	一、九〇

●租稅收納の比較表

度支部司稅局が調査したるところに依れば光武八年以來昨年度迄收納せし租稅の額は年々增加の一方にして其割合は光武八年を一〇〇と假定すれば九年度は一〇九、十年度は一二二隆熙一年二一六、同二年二二二、同三年二四五の割合にして頗る良好の成績を示し居れるが今其總額を擧くれば左の如し尤も本表は關稅、驛屯土及印紙收入を除きたる其他の內國稅にて國庫へ納入済のものなり

光武八年三一六〇六五六、同九年三四七三四〇四、同十年四一九〇九七四、隆熙一年六八四七九三九、同二年七〇三八四四一、同三年七七六九六七一

●京城民團教育狀況

京城民團立諸學校の生徒現在數は四千三百三十五名にして是を擔當する教師は百〇三名あり之れを各學校別にするときは

學校	生徒數	教師
高等女學校	二八〇名	一四名
日出小學校	八八七	二二
南大門小學校	一、三七五	二七
同附屬幼稚園	六六	二
櫻井小學校	五八四	一四
庚子紀念幼稚院	一二四	四
龍山小學校	一、〇一九	二〇

以上の如くにして教師一人の平均生徒受持數は高女二十人、日出四十人、南大門五十二人、同附屬三十三人、櫻井四十三人、紀念幼稚園三十一人、龍山五十一人の割合なりと

●江原道の豐作豫想

江原道江陵郡地方は先月來旱魃の評高かりしも同地警察署長よりの報告によれば其後降雨あり一般の植付無事に終了し爾後氣候適順なる爲め農民は鼓腹謳歌しつゝありと

●佛艦隊司令官訪問

佛國總領事代理バイヤール氏及東洋艦隊アルゼール司令官フレガート氏兩人は十三日統監府を訪問したり

●咸北地方害虫發生

咸鏡北道中井書記官より十三日發電報に依る報告は天候不良の爲會寧郡一圓に害虫發生し目下驅除督勵中なりと

●南山の活動寫眞會

愛國婦人會韓國本部職員有志は京城居[illegible]に資する爲め來る十七十八日頃倭城臺奏樂堂附近に於て野外幻燈活動寫眞會を開催し傳染病に關する幻燈其他消凉[illegible]興味ある幻燈及び活動寫眞を觀覽せし由なりと

KOREAN PENINSULA

AS VIEWED BY A FOREIGNER.

外人の視たる半島(八)

一外人記述

▲余は統監府を訪問して其歸りに厭ふべき一場の悲劇を見た、此悲劇は白晝公然大道に於て演せられたのであつた。

▲余がリキショーを馳せて本町通りを過ぎ理事廳の前から韓銀新建築の方へ向かつて下つて行くとソコにストリート、ハンガアが黑山になつてタカツて居る。

▲出來事はコーだ、一韓人年は二十歳許りなるが玉子を脊負つてサリヨ、サリヨと歩て居た、後から**大官**らしき**日本人**を乘せた一臺のリキショーが走つて來た、アハヤ韓人が身をかわさんとする間に其リキショーの梶棒が韓人の背中へ觸れた哀れなる韓人は倒れた、彼れの白衣は破れ、彼れのヒザはすりむけた、ソウして賣物の玉子は悉く毀れて仕舞つた。

▲**ヨボの馬鹿野郎**テマイはナゼ往來の邪魔をするかと云つて日本人の車夫は怒つた、ソウして立上らんとする韓人を手もて突飛ばし何か罵聲を放ちつゝ走り去つた、車上の大官らしき人は始終車夫の爲すが儘に任かせた。

▲余は入京後間もなきに不幸にして斯る厭ふべき悲劇を目撃した、悲劇中の韓人には同情を禁じ得なかつた、ソウして**野蠻行爲**を敢てして**恥**ぢざる程に**無智**なる日本人の爲には深く悲しまざるを得なかつた。

▲嗚呼日本人の韓人に與ふる虐待、开は在韓外人間に於て有名なものだ、今聞くが儘を左に記ろふ。

▲日本人が韓人のリキショーに乘る、始め賃金を極めない、二時間三時間とアチコチを乘り廻す、用が濟むと日本人は下車する、ソウして五十錢も拂ふべきところへ十錢か二十錢かの自分のヤリタイと思ふだけヤル、韓人車夫は不足分を請求する、日本人はウルサイと云つて怒る、ソウして不足分を拂ふ代りに叱飛ばして拳骨を與へる。

▲日本人が韓人から玉子を買ふ、玉子の價は十個で十五錢だと云ふ、日本人は二十個の玉子をとる、ソウして韓人に十五錢を與へる、韓人は不足だと云ふ、日本人は韓人にバケツで水を掛ける、ソウして家の戸を締切つて取合はない。

▲日本人の請負業者が韓人勞働者を使ふ、韓人勞働者は日本語が判からぬ併し一生懸命に働く、ものゝ一月も經過中に韓人が日本語を知らぬ爲に何かの間違を仕出かす、日本人は其間違を口實に韓人を解傭する、韓人は去るに臨んで今迄の勞働賃金を請求する、日本人は賃金を拂ふ代りに韓人を罵倒した上に蹴飛ばして逐出す。

▲之は地方にあることだが韓人の婦女を日本人の勞働者や鐵道の驛夫などが數人組合つて途にて襲ふ、ソウして山中に擔ぎ込んで凌辱を加へる、弱き韓人婦女は凌辱を受けながら後難を恐れて泣寢入にする、ソレを良い事にして日本人は野蠻行爲をリピートする。

▲日本人の眼には韓人と云へば上流者と下流者との差別が付かない、上流韓人に對しても一概にヨボヨボと冷罵する、ソウして彼等に對し言語舉動に於て無禮を働く、否な時としては少しの事に暴行を加へる、古い事ではあるが彼の有名な**尹致昊**氏の父にして曾て大臣をも勤めた名族**尹雄烈**氏に向つて或日本人が**暴行**を加へたことさへある。

▲日本人の高利貸、其數は京城及び地方を通じて中々多いものだ、此多い高利貸等は不正營利の目的を達せんがためには相手の韓人を打つ、蹴る、あらゆる慘酷の手段を盡す。以上は余が耳にしたところを一寸記載した、若し夫れ委敷調べたなら日本人の韓人を虐待する例はドレ程あるかも知れない。

▲日本人は云ふであろふ、韓人は**暗愚で劣等**だ、吾人日本人は**賢明で優等**だ、賢明で優等な吾人が暗愚で劣等な韓人を扱ふにドンナ手段をとるともソレは吾人の勝手だ。

▲見よ、ビルマ及び東印度に於ては英兵及英國官吏が土人を虐待しつゝあるではないか、アフリカのコンゴーに於てはベルギー人が土人を虐待しつゝあるではないか、マダガスカル島に於ては佛人が土人を虐待しつゝあるではないか。若し夫れ文明を以て誇る米國人は京仁鐵道敷設の當時韓人工夫を笞杖にカケて酷使した事があるではないか。

▲しかのみならず諸外國人は我開國の初めに於て吾人同胞の一部に對し横濱神戸長崎等に於て虐待の數を盡したではないか、コレを思ひカレを思へば吾人日本人が今半島に來つて韓人を虐待するは優勝劣敗素より當然の事だと。

▲嗚呼**君子國民**を以て誇りし日本人諸君、諸君はイツの間に斯くも**墮落**せるか。

●龍山側の意氣込 と題し昨紙龍山側議員が助役問題に慷慨し來る議員改選の際犬羹的復讐を爲さんとて松木大村の兩氏は既に運動に着手せる樣記載せしは全く誤報にて未ださる事實なし

●豫備金支出公布 隆熙四年度豫備金中度支部所管負傷退職巡查特別給與金三千圓同韓國銀行補助金補足三萬一千圓支出の件十三日の官報を以て公布せられたり

●明治大學校友會 明治大學校友會は十三日午後二時より小宮次官邸に開催せり校友の學術演説あり終りて敎育講談筑前琵琶等の餘興あり盛會なりき

●敍任辭令 左の通り辭令ありたり

警視 齋藤金祐
內部技師 山內圭一郎
給六級俸

公人私人

▲小林克巳(憲兵中尉)十二日公州行
▲森知之(歩兵大佐)十二日平壤行
▲上林敬次郎(開城蔘政局長)十二日入城京城ホテル投宿
▲藥師寺常義(水原憲兵隊長憲兵中佐)十二日水原より入京浦尾旅館に投宿

▲龍山雜信▼

▲龍山の戸口 七月初旬の調に依れば龍山の戸數は二千七百四十一、人口は男六千二十一、女四千六百八十七合計一萬七百人なりといふ尤も此の內には新市街山下町一帶の元京城民團區域內の居留者を含めることゝ云ふ迄も無けれど兎に角一萬を算するに至りしは目醒しき發展どいふ

▲收稅の成績 京城民團龍山出張所に於ける第二期徵稅の成績を聞くに賦課額七千百二十五圓餘にして一日平均百圓內外の納稅を見京城本所の夫れに比して極めて良好なりといふ

▲輸出入貨物 漢江に依れる輸出入貨物は本年度に入て轉入八十一万餘圓輸出十八万一千餘圓なるが輸入貨物にては鐵管の二十四萬六千圓石炭の二十萬圓を輸出にては大豆の十万三千餘圓を重なるものとす

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
十三日	一一三、八一九、〇一	二九三

▲治外法權▼

世人の知る如く我宮內省や外務省には外國との交際用語がある、此交際用語は維新の前後に極めたもので、我帝國の位置の上進せる今日に於ては改正せねばならぬものが幾らもある▲假令ば今はないが昔在つた太平洋中の蕞爾たる布哇王國の主權者の事を我宮內省や外務省の交際用語では布哇皇帝と呼んで居つた▲ホルトガルは現に歐羅巴に於ける第二流の一王國だ、而るに我交際用語では今以てホルトガル王のことを皇帝と呼んで居る▲若し夫れ埃及のケヘデブ、印度のラヂャー、ヂャワのソルタン等に對しては如何なる敬稱を用ゐて居るか、殿下か閣下か實に曖昧なことだ▲ツマラヌ事のようだが交際上對等不對等を定むべきものは用語だ、我宮內省が今日外國との交際用語の改正の必要を感ずるに至りたるは當然の事だ▲蘭領に對する半島の輸出は年額七十萬圓だソウだが、奬勵奮發したらモット增さぬ事はあるまい、ツイで片貿易は不利益なものだ、ドウカ今後は蘭國の石油でも更紗でも乃至他の產物でも半島に向く物を研究して輸入を奬める樣にしたい▲我京城には何々學校同窓會と云ふのが幾らもある、學士會も其一トツだ早稻田同窓會、明法同窓會、日本大學同窓會なども各其一トツだ、而るに是等同窓會の人々等は懇親を結ぶを名として時々酒を呑合ふ外學風の維持とか學術の研究とか云ふ事は一切シナイ、彼等は徒らに校名を笠に着て派をなし黨を作り世間を威張つて通ろうと云ふに過ぎない▲京城商業會議所は龍山方面から八名の議員をとり同時に多數の特別議員を作るソウだが一々良からう併し幾ら頭數許りを殖したからとて今迄の樣ではダメダ、山口會頭シッカリせねど改革が龍頭蛇尾に了るよ。

東京水害後報

東京電報

一荒川の上流堤防增水の爲め破壊し度る(二)市民驚きたる本所、深川、下谷、淺草の何れも一帶千住、王子、赤羽、岩淵、三川島の各地何れも浸水し特に千住は二階迄浸水住民は屋上に避難饑餓に迫る(三)千住大橋は殆ど沈落せしが吾妻橋、兩國橋、永代橋も危險に迫る本所の住民の全部避難せり(四)龜井總監は自ら出動し避難救助を指揮す(五)淺草公園も四尺浸水し船にて交通せり(六)荒川、綾瀨沿岸全部浸水死者十數名あり(七)昨日來工兵隊出動救助中(以上十三日)

▲鐵道一部開通

東京電報

[illegible]線は昨日開通せり(同上)

●南山の活動寫眞會

愛國婦人會韓國本部職員有志は京城居留民の爲に來る十七十八兩日頃倭城臺南山に於て野外幻燈活動寫眞會を開催し傳染病に關する幻燈其他衞生興味ある幻燈及び活動寫眞を觀覽せしむる由なりと

馬鹿を見た福壽女郎

▽大きな義助の鼻の穴
▽身受されて又賣らる

傾城はみんな孝女のなれの果と此れに因つて之れを觀ると孝行者は女に多く男に鮮い次第となる勘定なり其の御多分に洩れぬ孝女の成れの果てに新町遊廓**第一樓**に**福壽**と名乘つて面を晒して居た女と云ふは昨年六月前借金四百五十圓にて抱へられたるものなるが此の妓の實家には以前は金の茶釜が勘定仕切れぬ程あつたのだが福壽が高等女學校二學年在學當時父が事業上の手違ひより失敗したる爲めに現在の身分とこそは成り下つたるのなれば敎育も夫れ丈けはあり裁縫も相當に第一樓内にては此の點に於ても容貌に於ても先づ五本の指に折らるゝ方にて店出し間もなく賣つ妓の一人に成り濟したるが繁々通ひ來る客の中の本町六丁目古迫商店の店員たりし**關巖**と云ふ**名斗り堅い**金縁眼鏡の高襟男に打ち込み居たりとて格別何處からも苦情の出る筈はない筈なるが兎角思ふまゝにならぬが浮世の常で新町遊廓の口入屋とかの店員何の**義助**さんとか云ふが眼と鼻の先の事とて此れを嗅ぎ附け俺の**繩張を荒らす**憎くき男なり藝娼妓を扱ひつけて居る乃公の腕で福壽を捲き上げ鼻を空かせて行らんと尤も至極な敵愾心を起し盛んに關巖に對抗したるも義助君が**自分で思ふ程女の眼には好男子と見へず**鬩ぎ打ち合はしてドロンと行つたこゝも二三回に及びしにぞ第一樓にても朽ちたる木彫る可らず虫の附いた妓抱へて居られずとの孔子樣の言葉もあればと鬩が**身受話し**を持ち出せしを機會に**二百三十圓**に折り合ひ芽出度本年の五月五日威勢よく反對に撥がり返へつてる**義助の鼻の穴へ**足を洗つた**泥水を流し込んで**飛び出したが間もなく本町九丁目新町への入口にあつた山本と云ふかしわ屋を讓り受け義助さん此れ見て頂戴の丸髷姿長火鉢を間にイチャツキ居たる迄は比較的天下泰平一家安穩であつたが此の事何時しか古迫の**主人**の耳に入り關は特別の恩典を以て**拂箱**となつた斗りなら既に商賣も始め且つは多少の貯へもあつたれば格別のことはないのであるが此れと同時に之れより先き關には本町六丁目の古物商何某の姉娘なる**つや子**(二六)と云ふ中古のと切つても切れぬ深き交情なりしに關が右の始末を聞き知り首を縊るの身を投げるのとの大悶著を惹き起せしに流石の關も一時は**色男には成度無い**と途方に暮れしも長らく商店に奉公せし男だけに算盤玉を彈いた結局が福**壽**を許し京城ではれつやが五月蠅いからと**安東縣**に引つ張り出し同地に於て遂ひに同人を**六百圓**に**賣り飛ばし**尻喰へ觀音れ茶でも召れと京城に引き返しつや子を誘ひ出して本町九丁目邊で御主人と福壽は馬鹿だナア鳴と勿体ないをを申して居ると安東縣の福壽の許より恐い〳〵手紙が日に三本位づゝ來るので人間並に近頃は少々靑くなつて居るとか賣女に店員は鰻に梅干よりはモッと恐い食合なり

銀鳥女郎の取消

▽三面子を凹まさんとす

我社三面子の筆に依りて遽かに其の名を擧げたる大桝屋の銀鳥(本名は渡邊ます)難有いとも思はず十一日附を以て下の如き太ばちもない事を申し越したり全文に曰く

拜啓陳者貴社本日發行の三面記事中に太々しき姦夫姦婦と云ふ記事有之候へ共如何なる處より探知致されしや誠に困り入り候(オヤ〳〵)如何なる文を作るも決して差し支へ無之候へ共(銀鳥誚の許可を得たり)名前等はよく〳〵しらべたる上の事に致され度候(調べましたのだが)男の名前を東ご記載致し有れ共此れは大のまちがへならずや(恐ろしい劍幕かな)其の男は今西松次郎と申者なり(能く御存じで……へエー左樣ですか)又大桝屋の銀鳥なぞと云ふ事を書かれては實に困る(夫れは困りでしよう)大桝屋には大桝屋なれども女の名前は千草と申す者(今は女中代りに働いてるあれですか)なれども今は事情の爲休業中なり其れをよく〳〵調べぬ内に(何うして判るの)銀鳥なぞと發表致されては誠に困り入候(夫れは困りでしよう)貴社も立派に新聞社の名を持ちて居るなら(貴社も立派に女郎の名を持ちて居るなら)何事もよく調べたる上に記載致されよ(れ客の身元もよく調べたる上に懇意致されよ)失禮には候へども(ホントにね)私なぞは男の處へかよう樣な女には有らず候故(實がないね……併し一周に一度宛はの但し書はありませんか)かゝる事を書かれては誠に困る(夫れは困りでしよう)何卒取りけし被下度候(と申込みに付き取り消す)新聞の種がなくて困るならば(ハイ)私なぞはまだ立派なる事(あの憲兵隊の馬丁さんの事か)を記載致して戴きます一日も早く取りけし被下度候(モウ先刻濟んだよ)草々

十一日 銀鳥

御中

眞正ならばた氣の毒さまだがナア

掏摸の大檢擧

▽警務總監部員の大活動

東京に於ける掏摸の大檢擧に引續き大阪の大檢擧に居堪まらず落延びたる掏摸は多く滿韓地方に入込みし形跡ありしが頃日來頻々として各所に被害ありし總監部にては捨置れず愈大檢擧に着手し加納永山小野瀨賀の各刑事は晝夜兼行にて犯人の捜索に着手し拘引したる掏摸の數既に十數名に達し尚ほ續々拘引せらるゝ手筈なれば漸く其後を斷に至るべし然して拘引したる掏摸の中明治町二丁目日の出館止宿大阪市平民赤井留吉(三〇)と云ふは三十七八年役に從軍し勳八等一時賜金二百圓を受けたる名譽軍人なるが如何なる天魔や魅りけん掏摸と墮落し大阪に於て惡事を働く中大檢擧に會し逸早くも大連に飛びしが同地には一向面白き事もなきより當地の警察制度の混雜に乘じ一仕事爲さんと當地に來りたる者にて去る八日午前十時南大門通り漢湖農工銀行に於て當時中部香井洞池士文方居住の李昇翼が爲替取組の際隙を伺ひポッケットより四十九圓七十錢を掏盜りたるも惡運盡きて逮捕せられ同じく和歌山縣海草郡野田繁吉と云ふも大阪を逃亡して大連に渡り夫より當地に來りたる者にて去月二十九日午後十時三十分南大門驛プラットホームに於て高等法院書記阪井光太郎氏が渡日せんと列車に乘込む際懷中の十八圓五十錢入りの錢入を掏盜りしが是又捕縛せられ何れも取調中なりし處昨日檢事局に送致されたり他の拘引者中には罪蹟明かなる者多ければ引續き檢事局に引渡さる可く各刑事が東西に出沒して捜索に苦心活動せる有樣は目覺しく[illegible]の術を心得[illegible]の限り天網を免れぬ彼等の末路こそ快けれ

●僞刑事係の強姦

本月四日の紙上に退韓遣犯者の逮捕と題し報導せし無賴漢原籍福岡縣筑紫郡安德村字中原生れの森增太郎が本月三日西部署棚橋刑事の手に逮捕せられし事は既報の通りなるが爾後彼には余罪ある見込にて嚴重に探査中の所恐喝未遂詐欺取財並に七月十一日午前二時頃西小門通り料理店日の出亭の酌婦八千代こと云ふ者を刑事巡查なりと詐稱し誘ひ出し某所に於て強姦したりとの事あり檢事局に送られ目下伊藤檢事の手にて取調中なるが果して强姦なるや否やは豫審に屬するを以て後日詳報する所ある可し

●木取つた前科者

山口縣豐浦郡宇賀村八百番地當時靑坡町六十八統十二戸大工職田村武吉(二八)は本年三月二十八日贓物故買犯に因り京城區裁判所に於て懲役三箇月罰金四十圓に處せられたる前科者なるが本月三日午前四時頃漢江通り七丁目材木商川田政喜方材木倉庫に忍入り杉四分板四坪五合樅八分板一坪五合八勺(代八圓四十錢)を窃取したる爲め西部署に逮捕せられ檢事局に送られしが昨十三日喜頭判事伊東檢事の掛にて懲役一箇年に處せらる

●窃盜及詐欺取財

和歌山縣日高郡早蘇村當時太平町佐原喜一方菓子小賣商入江松藏(三六)は本年八月一日午前一時頃外出先きより歸り家人の熟睡中なるを奇貨とし同家の机の中に入れありし金十二圓入財布を窃取し長谷川町料理屋奈良屋及靑坡町樹樂樓等に於て酒色に費消し又本年五月龍山の菓子商靑木忠太が京城若草町川原某に二圓十錢の賣掛代金あるを知り之を横領費消したる事發覺し南部署に檢擧せられ昨十三日檢事局に送らる

●自轉車の置逃げ

去る十日本町五丁目三十番戸千田常次郎方前街路に於て氏名不詳の洋服着したる日本人自轉車に乘り來りたるが人力車と衝突したるより轉覆負傷せしより車に乘り高井醫院に行き手當を受け同所を出でたる儘自轉車は其の儘にして行衞不明なれば贓品の疑あるを以て心當りの者は南部署へ屆出づ可し

●雨方氣を注けろ

南大門通り三丁目三十九番戸雜貨商吉田健吉方雇人石塚政彦(十八)は一昨十二日午後七時頃米倉町小路を注文先きへ届くる荷物を持ち通行中韓學生韓仲明(十六)外二名と喧嘩し互に摑り合ひ互ひに負傷したるより南部署に於て双方共説諭せられ放還せらる

●弱り目に祟り目

七月廿六日午後七時過ぎ北米倉町出火の際火元たりし紀の國屋主人長岡源次兵衞は失火犯として告發せられ檢事局に送られしが昨十三日喜頭判事兩角檢事の掛りにて罰金五十圓に處せらる

●雇人の蒲團泥棒

櫻屋旅館雇人崔景玉(三〇)は去月二十六日米倉町出火の際混雜中同家の蒲團二枚を窃取したる事發覺し南部署刑事に逮捕せられ昨十三日檢事局に送らる

●チブス患者死亡

旭町三丁目四番戸中山友吉は七月二十五日より腸窒扶斯に罹り靑坡病院に入院中の所八月十二日午後二時遂に死亡せるを以て西部署に於ては獨立門外に於て埋葬せしめたりと

日曜集會

●メソヂスト敎會 旭町二丁目なる同敎會にては午前九時より日曜學校聖書研究あり同十時半より山口牧師の禮拜説敎「絶大の愛」あり午後八時よりは曾田嘉伊智君の傳道説敎「收穫時」あり

●日本基督敎會 旭町四丁目なる同敎會にては午前九時より日曜學校同十時より石原牧師の禮拜説敎「イスカリオテのユダ」午後八時よりも石原牧師の傳道説敎「神の子キリスト」等あり

目と耳

▲壽座 合同劇十四五日の代り狂言
△十四日 新派「魁九重」(十場)喜劇「櫓太鼓」(三場)
△十五日 新派「浪花の俠客難波の福」(十場)喜劇「求妻」(四場)

▲浪花舘 廣八一座十四日の代番組 御祝儀寶入船(入登)東天紅(廣吉)大功記夕顔棚(越次)花の上野志渡寺(此重)玉藻前三段目(此千代)御所櫻辨慶上使の段(仙春)三十三所壺阪寺の段(隅照)日吉丸三段目小磐山城中の段(越春)三勝半七酒屋の段(廣八)大切忠臣藏七段目(掛合)

●演藝だより

暑さのせいでもあらふが近來の演藝界は頗る不景氣の樣子である、今當地に關係ある各演藝の消息を聞くに例の伊東文夫は大連で好成績を得目下は營口にて開演中▲木村猛夫は久留米惠比壽座にて相變らず木村式を發輝して居る▲相當の伎倆を持ちながら久しく滿韓を放浪せし田宮貞雄は酒井政俊、熱海孤舟と共に大坂松島八千代座の座附き俳優となり神田見の辰次を勸めて大喝采を博し居りしが來る十五日より奈良地方に乘込み來月一日再び大阪に歸り天滿座に開演する由▲男地獄の小喜多村は元山方面の小居留地を漁り同じく峯松信夫は名古屋にて相當に用ひられて居る▲三輪實は一座を組織して九州各地を巡業中▲相澤正義は川上音次郎の一座に加つて北陸地方巡業中の由▲喜劇の曾我廼家分派は朝日奈が拔けて其殘黨さそと等邊りに散亂して居る壯俳の殘黨とが合併して當地壽座に立籠り新派と喜劇の合の子を演つて居る▲浮連節芝居の市川鯉之助は仁川歌舞伎座で存外人氣を博して居る

▲平民文壇▼

▲京城日報第一面に「七朝史論雜記」と云ふホントの雜記を書いてゐる海南漁夫と云ふ人は崔鳴吉と李完用を比較して何かを語つた如だ(赤裸々子)▲永樂町の齒醫者は藥治が親切で成就繁齒は技神に入ると云ひたい僕が藥治に行つて知つて居る敢て諸君に紹介する(壽町一學生)▲好景氣なりし新町遊廓も近來の不景氣は人々の御承知だ今迄の夢統監の行政は在韓邦人を墮落させたのだ希くは將來は第一料理屋廢止だ今の如く行く者がなければ自然消滅(時間子)▲左樣も參らぬ、時に時間子の投書前文の方は誠に痛み入つた次第だから益々奮勵致します(係)▲元憲兵曹長桑畑與市なるもの臺灣に於て不正に土人の業地を横領し現今其の業地を賣却せんとし遙々臺灣の或る土人の許に申越したりとかにて土人間には不正の上に不正をなすものとして風評連りなり桑畑君たるもの頭らく現住所及其業地占有の理由を明にし臺灣日々新聞に揭載して疑を解かれたし余は元同僚なるに付君の名を吝みて一言を呈するものなり(在臺北生)▲通行人君は僕等店員輩に同情を與へらる百千の清涼劑にも優りて嬉しく感ずる、人は朝鮮の夏は暑いが夕方より涼風あるが爲に凌ぎ易いと云ふ吾等は日中よりも夕方より熱き瓦斯燈の下に顧客に接する方面に苦しさを感ずる大方の諸君せめて買物なりとも淡泊として呉れ給へ此れ吾等に對する一種の慈善なり(天般)▲全くであらふど同情の念に堪れぬ五十錢か一圓の買物に三十分以上も腰を下して居られてはねーれ察し申す(係)▲債權者君の投書は餘り要領を得過ぎて居るから沒とします(係)▲老人亭の鑑に於て田中生なる人より此節の樣に盜難事件が續發し而かも賊徒が捕縛せられない十日の夜も大和町附近に怪しい者が徘徊して居た何うか早く捉まへて住民に安心さして呉れ警務總監部へとの投書があつた(係)▲係が馬鹿に出洒張つて我鑒の領分を侵して居る知だ盜難が續發すると云ふのは一は住民の油斷から來るものだ一も二も警察のみに嫌味を列べるのは好くないてとの如に思ふ(小僧)▲拐帶とか横領とか云ふ事件の當地に發生したものが當地に知られず却つて日本の新聞に先きへ載つて後に此方へ轉載せらるゝ事がある何うした譯か(蹄生)▲大した理由はない知らさんから知れぬのだ(小僧)

ト日の運勢

八月十四日舊七月九日一白兌負辛亥三りんぼ△一白 厄運日なり新事旅行見合せの事盜難及妄言にあふ勿れ△二黑 紛料爭訟多し不動產の事婚談見合すべし△三碧 得意の日大抵進んで皆吉共同團體婚姻の事に凶散財を戒しむ△四綠 願進の日大凡吉不動產及貸借の事に凶△五黃 新事及婚談共同團体の事見合すべし建築動土に吉△六白 不圖快事ある日なり權利々益の衝突紛爭あり旅行凶△七赤 利益ある日なり家庭上の事煩累多し△八白 賣買貸借尤も注意すべし起工開業保證引受見合せの事△九紫 勢して効なき日なり新事見合せの事農林の業に吉

八月十五日舊七月十日九紫佛滅癸子定八專の入△一白 障害邪魔多き日なり新事婚談見合せの事色情の破れあり△二黑 起工開店に忌む疾病衞生注意すべし其他進んで吉△三碧 勢に任かせて愆ちあり保守主義の事親戚の煩鎖あり△四綠 共同團體婚談に忌む其他大抵吉△五黃 會心の日大凡吉術突亂襟起らんとす△六白 新事見合せの事婚談連盟共同の事及建築動土に吉△七赤 行商旅行探險轉任改革視察に吉其他不快のおさす△八白 談議接見依囑請願起工開店吉△九紫 紛爭離間證券印章の故障あるべし新事見合せの事

●天氣豫報

(自十三日午後六時至十四日午後六時)

北東風晴後曇

十二日(華氏) 最高溫度 八七、八 最低溫度 七〇、七

廣告

貸家廣告

二疊壹、參疊二、六疊二、專用水道湯殿上下便所和樂園下米倉町電話便利あり

米倉町三三の一 森重作

入院隨意

京城西小門通六番戸 菅醫院 電話 一三一五番

醫術開業廣告

内外科、小兒科 產婦人科、黴毒 其他一般患者の診療に應ず

午前宅診 午後往診……(但急患は此限にあらず)

壽町二丁目(食道樂の上隣) 池上醫院 醫學得業士 池上要吉

京城旭町二丁目 公園下

●割增金附 勸業貯蓄債券正確賣買

◎◎◎抽籤に當籤すれば金一千圓金五百圓以下多數割增金を收得せらるゝ債券 抽籤に當籤すれば非常に莫大の利益あり當らずとも元金と利息に損なし 抽籤に當籤すれば當店より御買取債券に永久無料にて特に御急報申上候

貯蓄債券

記號	賣價	買價
には號	四五五	四四〇
を號	四六五	四四五
いろは號	四七五	四五〇
へる號	四八五	四六五
ち號	四九五	四七〇
と號	五一〇	四八〇
の號	五二五	五〇〇
り號	五九〇	五六五

拾圓券

記號	賣價	買價
廿四五回	九六五	九三〇
二十三回	一〇二五	九八〇
廿八卅二回	一〇五五	一〇二五
二十九回	一〇六五	一〇三〇
廿七卅一回	一〇七五	一〇四〇
廿三十回	一〇八五	一〇五〇
三十三回	九九九五	九八〇

勸業債券

回數	賣價	買價
八回十二回十四回……	二〇六五	二〇二〇
四回五回六回……	二〇七五	二〇三五
十回十一回十三回……	二〇八五	二〇四〇
七回九回……	二〇九五	二〇六〇
十八回二十回……	一九六五	一九二〇
十五回十七回十九回……	一九七五	一九二〇
十六回廿一回廿二回……	一九八五	一九五五

◎賣買は正確にて一通より懇切に御用辨に應ず
◎御送金は振替貯金大阪一九四四へ御拂込あれ
◎御賣品は書留郵便又は小包便にて御送附あれ
◎御注文は代金の外送費金十二錢御加へ拂込み
◎御賣却は債券到着次第爲替書留にて御送金す
◎取扱迅速にて賣買とも直段は一錢も懸引なし
◎賣買と御照會は新聞名必御記入往復葉書にて
◎本表直段は來八月卅一日迄確實に御取扱致候
◎來九月抽籤はとぬ號と七廿二廿三廿四廿五回

大坂市東區石町貳丁目(登記濟無限責任)

日本共通合資會社代理店

(諸公債現物賣買歡迎)

共同貯金應ヱ座一四一三九番 振替貯金口座大阪一九四四番

諸看板製作 油繪肖像畫●硝子金文字入 永樂町二丁目 甚野工舍

入院隨意
内外科
小兒病
梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話(二六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

眼科
日曜及祭日は午後二時迄
京城本町二丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院
(電話三十三番)
前韓國京城病院眼科部長
醫學得業士 江頭富雄

弱き婦人
言つて甲斐なき嘆息よりも
飲んですぐ利く中將湯を召上れ
婦人良藥
中將湯
本舖 津村順天堂
效能
代理店 京城 新井藥房

夏の和樂園
御料理 席貸
高田家
電九三七
不相變御引立之程乞

滋養と牛乳
純良牛乳
馬車配達
京城東四軒町
岡野牧場
衛生と消毒

美術、書畫、襖、壁、天井張、
表具師
京城壽町一丁目
桂萬吉
(電話六二七番)
同明治町矢島酒工所向
桂龍山支店
(電話架設中)

鎮南浦西三丁目
釘本鎮南浦支店
電話六三番

和洋金物商
韓國京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長距離電話四五番呼(信略ク號)
振替貯金口座韓國(二五六)

京城南大門外蓬萊町
釘本鐵工所
電話二三四番

京城相生町南門湯横(電話一二九四番)
自午前八時
至午後九時
●花柳病專問 附、痔疾一般
●入院隨意●
京城梅毒病院
院長 醫學得業士 蘆田耕平

きゝめのある溫泉湯
此の溫泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りん病、よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき、膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷溫泉を併用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷溫泉
電話千四百十一番

味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
約販賣自
ビール
新茶
大賣出し
製
大上商店
(電話二五一番)

本院は毎日(日曜及祭日を除く外)午前九時より午後四時迄各專門醫に診療を依賴す
松村先生の診療時間は午前九時より正午迄とす
但し和田先生の診療時間は午後二時より
京城居留民團囑托
京城龍山榮町文平山麓
龍山醫院
(電話六〇三)

統監府及諸官衙御用
荷物運搬
引越荷物受負
伊藤組
電話七四〇番
電話九三二番
電話一六四八番
本町三
南大門通
大和町
同第二

東京足袋
本店東京
京城大和町二丁目
(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番
四九二番
日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(一圓八十錢)
三等(一圓五十錢)

營業科目
諸官衙御用
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
發賣販賣
東京ランパード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理部
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
(大日本麥酒)合資會社特約
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目十番地電新橋三六九二

印章彫刻
ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
電話九三番
諸官衙御用達
奥野岩太郎

印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
紙
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

資本金 一千萬圓
積立金 五百七十五萬圓
明治六年設立
株式會社第一銀行京城支店
京城南山三丁目
電話 一番 六一二番
振替貯金口座韓國一一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾六萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)

韓國
本店 長崎市榮町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

大韓國特定御用
純良牛乳
蒼井牧場
電話一〇五六番

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信

株式會社百三十銀行京城支店
電話五十八番
振替貯金韓國一一三番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 津、東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、桑名、名古
東山道 彦根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋、桐生、福島、酒田、能代、七輪、青森、仙台
北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 姬路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、柄、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、三津ヶ濱、州本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎
北海道 小樽、函館、
台灣 臺北、臺南、
樺太 太泊、
韓國 仁川、釜山、平壤、鎮南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、尙州、大邱
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

無比勉強
かやわた
關戸蚊帳會社韓國代理店
吳服
太物
洋反
京城明治町一丁目
唐川商店
電話一六一番
蒲團
調進
新案特許製綿韓國一手特約店

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、長崎、
韓國 公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、
清國 義州、咸興、大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、
其他外國 香港、桑港、紐育、倫敦、巴里、里昂、
韓國銀行

廣告
民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定
貸金證券、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
負債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依頼に應
貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴事件
右は迅速確實に依頼者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ
京城旭町二丁目百四十五番戶
堤重四郎法律事務所
鍾路典獄後洞廿一統六戶
同鍾路出張所

新に塲館の料理人を入れ調理の面目を新にしたる目新らしき所を御試めし願ふ
壽司、うなぎ、アイスクリーム、も同樣御高評願上候
壽町二丁目
電話九百四十四番
食道樂

南大門通三丁目光宣門側
御待合
紅葉
電話一三八二番

明治廿九年七月創立
資本金一千萬圓
東京火災運送保險株式會社
京城代理店 本町四 山口吳服店 電話 番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(永楽橋前電話一五八三)